

1. 件 名：
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの事業者防災訓練実施計画（案）の説明について
2. 日 時：
令和2年10月26日（月）13時00分～15時00分
3. 場 所：
茨城県原子力オフサイトセンター原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁 東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官
原子力規制庁 緊急事案対策室
祝迫原子力防災専門職
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター（以下、「核管センター」という。）
課長代理、技術主任
5. 要 旨
核管センターから、原子力災害対策特別措置法に基づき実施する事業者防災訓練実施計画（案）の概要について説明を受けた。主な内容は以下のとおり。
 - （1）訓練実施日
令和2年12月8日（火）
 - （2）訓練目的
 - ・ 緊急時対策所における原子力災害の拡大防止能力の向上
 - ・ 前年度の訓練で抽出された課題の改善状況検証
 - ・ 基盤的な能力、技量の強化
 - （3）訓練想定
 - ・ 地震により、新分析棟のグローブボックスの廃棄フィルターが損傷し、放射性物質が放出され、原災法第10条及び第15条に該当する事象が発生
 - （4）シナリオの開示の有無
一部開示

原子力規制庁から、事前の機能別訓練を確実に実施すると共に、原子力規制庁と核管センター間での情報共有の際に使用する資料を最新の状況に更新し、更に、新型コロナウイルス感染症に関する対策も併せて行うよう伝えた。
6. その他
配付資料なし